



# 神と人に仕える

## 今日学ぶこと:

- どう神に仕えるか
- どう人に仕えるか
- どうキリストの証人となるか



## ウォーミングアップ:

教会では、どんな方法で神や人に仕えられますか。神への信仰をどうやって人に伝えますか。



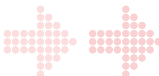
## 聖書研究:

イエスは、彼らの足を洗い終わり、上着を着けて、再び席に着いて、彼らに言われた。「わたしがあなたがたに何をしたか、わかりますか。あなたがたはわたしを先生とも主とも呼んでいます。あなたがたがそう言うのはよい。わたしはそのような者だからです。それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。まことに、まことに、あなたがたに告げます。しもべはその主人にまさらず、遣わされた者は遣わした者にまさるものではありません。あなたがたがこれらのことを知っているのなら、それを行うときに、あなたがたは祝福されるのです。 ヨハネ13:12-17

1. イエスは私たちにどんな模範を示しましたか。

---

---



2. なぜ「互いの足を洗い合う」のが当然なのですか。

3. 「互いの足を洗い合う」とは何を含みますか。現代において、それは何を意味しますか。

イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしは天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

マタイ28:18-20

1. イエスの弟子として、私たちは何をするのが望ましいですか。

2. 人に何を教えるべきですか。



解説:

## 神と人に仕える



**キリストの弟子として生活するとは、神と話し、神について学び、神に従い、ともに神を礼拝することだと学びました。今回は、どうやって私たちが神に仕え、神について人に伝え、人に仕えられるかを学びます。**

神に仕えるとは、神が願われる事柄を行い、何をしても神に栄光をもたらすことを意味します。実際、ここまでの6つのレッスンであなたが学んだ内容にも、すでに神に仕えることが含まれます。自分のやり方を捨て、みこころに従って生き、神を礼拝することなどです。また、神に仕えるとは、人の役に立つ働きも含まれます。これは神に栄光をもたらします。神のあわれみや優しさが現れるからです。また、これはイエスの模範に準じています。イエスは弟子たちに「人の子が来たのは、仕えられるためではなく、かえって仕えるため」であると言われました(マタイ20:28)。イエスが十字架に行かれる前に最後にされた行動のひとつが、弟子たちの足を洗うことでした(ヨハネ13:12-17)。その後、イエスは弟子たちに、自分がしたように互いに仕え合うように命じられました。当時、これは主人ではなく、身分の低いしもべがする仕事でした。ご自身の弟子にこうされて、イエスは謙虚さの模範を記憶に残るかたちで与えてくださったのです。イエスは、私たちが人に仕える時、謙虚になるように願われます。

私たちはいろんな方法で仕えられます。例えば教会では、祈ったり、聖書を使ったりして、互いに励まし合えます。教会の外では、いろんな実践的な方法で困っている人を助けられます。奉仕は、義務感からいやいやするものではありません。喜んで愛し、役に立つように願う心から

するのです。神の恵みを受けた者として、称賛を得るために良い行いをするわけではありません。神があり余るほど与えてくださったことに感謝する心からするのです。

神と人に仕える使命は、イエスが最も大切だと言われたふたつの戒めに表現されています。「心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ」と「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」です(マタイ22:37-39)。

## イエスを人に伝える

ふたつの戒めに伴っているのが、全世界にイエス・キリストを伝えるという、イエスの大宣教命令です(マタイ28:18-20)。これは神に仕え、キリストの弟子となる上で、一番大切な要素のひとつです。主がこの世に来られた目的は、迷える人を探し、救うことでした(ルカ19:10)。ですから、イエスについて人に話すのが、イエスに従う私たちの使命です。人々が、イエスを信じ、従うようになるためです。目撃者のように、イエスについて、見たり、聞いたり、知った何かを、人に語るべきです(使徒22:15)。それと同時に、私たちの変えられた生き方や、人を世話する様子は、神の約束や変える力が本物だと人々に示します。

いろんな方法でこれができます：

- **証を分かち合いましょ**う：なぜ、どうやってあなたがクリスチャンになったか説明するのは、人生を変える神の力を明らかにする上で、自分でもできる効果的な方法です。
- **キリストの話をしましょ**う：福音を人に伝えましょ。キリスト教の基本を要約したものを用意するとよいかもかもしれません。救いの道を語る一連の聖句(ローマ3:23; 6:23; 5:8; 10:9; 10:13; 5:1; 8:1)が良い手始めです。

- **神の愛を示しましょ**う：神の「大使」として、言葉や、行動、態度で神の愛と品性を表せます。
- **神について語りましょ**う：いつも「説教」をする必要はありません。神と築いた関係について人にただ話せば、あなたの信仰に興味を持ってもらえます。



## 祈り：

主イエスよ、あなたがされたように人に仕える願いで心を満たしてください。あなたのような献身的な心で、喜んで仕えられますように。救いの恵みにいつも感謝していられますように。驚きと感動でいつも胸がいっぱいになり、あなたが与えてくださる救いについて話さずにはいられなくなりますように。今日、あなたについて語る機会や、勇気、大胆さをください。



## 今日のチャレンジ：

今日、福音を分かち合えるのは誰か考えてみましょう。



## もう一歩先へ：

- 身の回りにどんな必要がありますか。教会や地域で人に仕えるには、実際にどんな方法がありますか。
- クリスチャンになる前の生活や、どうやって神を信じるようになったか、それがどうあなたの生活を変えたか思い出してください。それをすべて書いてください。あなたの証になります。